

背景・目的

学内外の講義・実習、現在の食料問題、環境問題、健康課題、震災関連支援活動を番組で取り上げ、管理栄養士としての役割なども考察し、各専門領域の教員の指導のもとラジオ番組を制作し、放送することとした。

番組制作の中心は3年生と4年生の有志とし、番組参加は1年生から4年生および食品栄養学科教職員とした。ここでは学年を超えた学生間のみならず、教員、助手を含めた学科の構成員が互いに番組内容を創りあげていくプロセスを通して、互いの情報を交換し、学び合う、すなわち、協同的な学びの場が生成することを目指した。

実施内容

ラジオ番組タイトル:管理栄養士を目指す宮城学院女子大生のパワフル奮闘記

ラジオ放送期間: 2012年6月5日から11月21日の期間を放送期間とした。26回分の番組を制作・収録し、放送した。



収録場所と収録日: fm いずみ 797 (79.7MHz)
スタジオを貸借し、火曜日 19:00 から 20:30 に2週放送分を収録した。

番組時間: 週1回30分の番組とした。

放送時間: 木曜昼 12:00-12:30 とした。

出演者構成: 司会進行役として学生1名、ゲスト

役として学生2名、コメンテーター役として教員1名の計4名で構成した。

放送内容:「私たちのキャンパスライフ」(10分), 「音楽」(3分), 「ご当地自慢」(5分), 「栄養ワンプoint」(7分)の四部構成として放送した。また、卒業生をスタジオに招き、「働き女子への道」というコーナーを3回収録した。進行役が中心となりテーマを決め、番組進行表ならびに原稿を収録日4日前に放送指導者、コメンテーター担当教員に提出し、修正したものを放送材料とした。放送音源は放送日翌日までに音源および収録風景などをYoutube動画に編集し、番組原稿とともに、大学ホームページに公開した。参加学生数:スタジオで放送に参加したものは、学生73名、大学院生2名、卒業生3名、教職員2名であった。司会進行役を経験した学生は8名(4年生3名,3年生5名)であった。

指導体制:番組内容および放送の進行については教員およびNPO オリザネットのスタッフが指導した。収録音源の編集は「fm いずみ 797」スタッフに依頼した。

結果及び考察

参加学生が学内外の活動をラジオスタジオでリスナーに伝えることは原稿準備をはじめ、時間を費やし、緊張感を有し、学生には負担となることが予想されたが、参加学生の達成感が高かった。fm いずみ 797 のスタジオの中での経験は、大学構内では得ることができないものが多く、管理栄養士として対象者にわかりやすく情報を伝えることなど、栄養教育の実践能力の開発に役立つ試みと判断することができる。なお、本活動は大学新聞社(2012年7月12日)で取り上げられ、学生が制作する「楽しくてわかりやすい教養番組」として高い評価を受けた。